各　　位

平成 25 年５月 15 日

会社名　株式会社　アルメディオ
代表者　代表取締役社長　飯　沼　芳　夫
（コード番号　7859　東証第二部）
問合せ先　問合せ先　　取締役　企画・総務・経理担当
取締役　　井　野　博　之
電話番号　０４２-３９７-１７８０（代表）

経営再建計画（ＡＬＭ２０１３）のローリングについて

当社は、平成 24 年５月に経営再建計画（ALM2012）を策定し、諸施策を実施してきましたが、経営を取巻く環境の変化等を勘案し、計画の評価の見直しを行い、ローリング案を経営再建計画（ALM2013）として取りまとめましたので、ご報告致します。

Ⅰ．当社グループを取り巻く状況

当社の主要顧客先である自動車産業は、年初よりの円安進行等の影響もあり、回復基調に戻りつつありますが、もう一方の主要顧客である情報家電業界は、需要の冷え込みが長期化し、事業の縮小や再編成等、収益構造改革が進行中であります。

このような状況下で、当社の基盤事業であるテストメディア事業は、自動車向け需要については、ほぼ堅調に推移しているものの、AV 機器向け需要については伸び悩み全体としては、当初の計画目標値を下回る状況で推移しました。

一方、業容の多様化の状況ですが、新規事業の立上げは着実に進歩し、売上規模はまだ小さいものの、ほぼ、計画通りに推移しており、更なる事業規模拡大を目指し、諸施策に着手しております。
また、連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司も新たな商品を開発し、事業規模拡大を進めております。

しかしながら、業容の多様化による新規事業の規模は、テストメディア事業の業績低迷分を補うまでには至っておらず、収益力拡大には、今少し時間が必要な状況であり、計画目標の第 34 期での黒字化達成は、現時点では厳しい状況です。

Ⅱ．ローリングの概要

今回の経営再建計画のローリングでは、事業環境の変化を踏まえた数値計画の見直しをはかるとともに、黒字化実現に向けた需要施策の展開に取組みます。

計画の目標の「第 34 期黒字化」を「第 35 期黒字化」と 1 年度後ろにずらし今期中（34 期）に黒字化実現のための諸施策を実施するとともに今期の収益改善に最大限取組みます。

１．計画の方向性

基本指針：『ディスク事業の収益回復と業容の多様化による収益確保を実現する』

第 35 期黒字化必達に向け、収益重視の事業運営を強力に進める。
ディスク事業を再編成し、人材等経営資源を新規事業にシフトする。
長期的には、多様化した事業から安定した収益を生み出す。

２．目標

連結営業利益	第 34 期（平成 26 年３月期）	▲50 百万円
	第 35 期（平成 27 年３月期）	50 百万円

３．方策

（１） ディスク事業の売上を再拡大する。
需要を掘り起こし、売上を拡大する。

（２） 会社組織を最適化し、固定経費を圧縮する。
会社組織を最適化し、固定経費を圧縮する。

（３） 第 34 期赤字ミニマム化、第 35 期黒字化に向けて対応策を実施する。
役員報酬の減額については継続する。
社長 50%、取締役 25%　監査役 20%（自主返納）

（４） 業容の多様化を推進する。
① 新規事業を推進する。

炭素材	活性炭の事業展開をはかる。
無機材料	阿爾賽(蘇州)無機材料有限公司製品の日本市場拡販をはかる。
LED商品	専門商社機能を構築し、販売活動を展開する。
アーカイブ	ディスク事業周辺ビジネスとして事業展開をはかる。
M&A	アライアンス等による業容の多様化を検討する。

② 阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司の売上を拡大する。

４．事業別売上目標

単位：百万円

	第33期 (2013.3)	第34期 (2014.3)	第35期 (2015.3)	第36期 (2016.3)
テストメディア	539	544	516	490
クリエイティブメディア	1,004	1,005	942	887
＜ディスク事業計＞	1,543	1,549	1,458	1,377
無機材料	6	57	160	390
阿爾賽（蘇州）	465	486	621	810
＜断熱材事業部＞	471	543	781	1,200
炭素材		24	178	330
アーカイブ	6	34	65	90
商社機能（ＬＥＤ）	21	40	70	110
＜新規事業計＞	27	98	313	530
売上合計	2,041	2,190	2,552	3,107

以上